

自然首都・只見 秋のフォトコンテスト

応募総数54点
(26名)



「晩秋幽玄」

鷹背 たかのほし

健次さん

(埼玉県)

ティーエヌアイ工業社長賞

「季節の流れ」石田 太郎さん(東京都)



審査員特別賞

「秋飾り」小林 末子さん(千葉県)



「霧立ちて」

三瓶 利之さん

(只見町)

「堆肥まき」

小田島 守明さん

(郡山市)

「実り」

高橋 洋子さん

(千葉県)

「秋の早朝」

菅家 晴夫さん

(只見町)

入賞作品展示

- 場所 只見町ブナセンター
1階 ロビー
- 期間 2月29日(水)まで
- 入館料は必要ありません。

入選

▶有田検討委員長から提言を受け取る目黒町長(右)



豪雨災害からの復興基本方針にある「活力ある社会経済の再生」を実現するための事業として、12月13日に季の郷湯ら里で開かれた「自然首都・只見」ブランド確立のための検討委員会の第2回の会議が同施設で1月27日に開かれました。

はじめに、有田博之検討委員長(新潟大学農学部生産環境科学科教授)のあいさつ

「この提言への取り組みには住民の理解と協力が必要です。この事業を効果的に進めるため、ぜひユネスコ・エコパークへの登録を実現してほしい」と一言述べ、目黒町長は「今後の取り組みに活かしていく。ユネスコ・エコパークも視野に入れ、専門的指導も受けながら継続的、戦略的に実行していく」とブランド化への考えを述べ、検討委員会は終了しました。

なお、提言の詳細については次号でご紹介いたします。

目黒町長へ提言手渡す 第2回「自然首都・只見」 ブランド確立のための検討委員会

豪雨災害からの復興基本方針にある「活力ある社会経済の再生」を実現するための事業として、12月13日に季の郷湯ら里で開かれた「自然首都・只見」ブランド確立のための検討委員会の第2回の会議が同施設で1月27日に開かれました。

はじめに、有田博之検討委員長(新潟大学農学部生産環境科学科教授)のあいさつ

「この提言への取り組みには住民の理解と協力が必要です。この事業を効果的に進めるため、ぜひユネスコ・エコパークへの登録を実現してほしい」と一言述べ、目黒町長は「今後の取り組みに活かしていく。ユネスコ・エコパークも視野に入れ、専門的指導も受けながら継続的、戦略的に実行していく」とブランド化への考えを述べ、検討委員会は終了しました。

なお、提言の詳細については次号でご紹介いたします。

県総体スキー・大回転

新國健道さん(楢戸)が優勝

第64回県総合体育大会スキー競技(第2日)が、1月19日に猪苗代スキー場ミネ口(猪苗代町)で開かれ、アルペン競技の大回転3種目が行われました。只見町スキーチームに所属する新國健道さん(楢戸)は、成年男子B大回転に出場し、攻めの姿勢で斜面を恐れず旗門を通過。2位に大差をつける快走で見事、優勝しました。

少ない時間で効果的な練習を重ね勝利をつかんだ新國さんは「皆さんに支えられ優勝することができました。これからも練習を重ね、安定した滑りを身に付け国体でも、よい成績を残したい」と抱負を話しました。国体スキー競技は、2月14日から岐阜県で行われます。がんばってください。



▲表彰状を手にする新國健道さん

只見中学校スキー部健闘

福島県中学校体育大会 スキー競技大会

第54回福島県中学校体育大会スキー競技大会のアルペンとクロスカントリー競技は、1月16日から18日の3日間、猪苗代町の猪苗代スキー場ミネ口とクロスカントリースキーコースで開かれ、只見中学校の特設スキー部が出場し、健闘しました。結果は、全国中学校スキー競技大会に4名、東北中学校スキー競技大会には7名の選手が出場を決めました。また、クロスカントリーの男子リレーで第3位に、同競技の女子リレーでは第2位に入賞、さらに、男子総合で第3位、男女総合では第4位という成績を残し、只見中の名を響かせました。全国大会への出場権を手にした皆さんを紹介します。おめでとうございます。

全国中学校スキー競技大会 出場選手(2月1日~2月5日 アルペン:宮城県 クロカン:北海道)

目黒 郷さん	3年	男子アルペン	回転(2位) 大回転(3位)	回転4位・大回転6位まで
馬場 那央也さん	1年	男子クロスカントリー	フリー(7位・繰り上がり)	6位まで
一条 昭英さん	2年	男子クロスカントリー	クラシカル(9位・繰り上がり)	〃
山内 結さん	2年	女子クロスカントリー	フリー(5位)	7位まで

只見毎日杯

1月22日、第39回只見毎日杯ジャイアントスラローム大会が、只見スキー場で開かれ、町内外から、78人がエントリー、タイムを競いました。競技者はレベルの高い華麗なスキーコントロールでゴール目指しスキーを滑らせていました。順位のタイムは、2本滑走した合計です。成績は次のとおりです。(敬称略)

ジャイアントスラローム大会

男子

- 【小学1部】①大桃歩(南郷ジュニアレーシング) 1分22秒44②五十嵐亮芽(南郷ジュニアレーシング)③岩堀光(たかつえレーシング)
- 【小学2部】①渡部大輝(フォータンジュニア少年団) 1分11秒55②川又洸希(たかつえレーシング)③渡部賢太郎(只見町スキースポーツ少年団)
- 【中学】①白岩拓朗(いいでレーシングスポーツ少年団) 1分08秒65②武藤憲(熱塩加納スキースポーツ少年団)③福地健太(熱塩加納スキースポーツ少年団)
- 【少年】エントリーなし
- 【成年1部】エントリーなし
- 【成年2部】①新國健道(只見町スキーチーム) 1分12秒54
- 【成年3部】①目黒英樹(喜多方スキークラブ) 1分13秒30②栗田健司(金山スキースポーツ少年団)③板橋泰二郎(三島町スキースポーツ少年団)
- 【シニア】①鈴木隆司(福島県マスターズスキー協会) 1分24秒21

女子

- 【小学1部】①猪俣向日葵(スクエアレーシング) 1分21秒



▲果敢にポールを攻める競技者

- 04②鈴木虹々(熱塩加納スキースポーツ少年団)③大島憩(熱塩加納スキースポーツ少年団)
- 【小学2部】①星朱音(だいくらSIEGER) 1分14秒92②室井朋花(だいくらSIEGER)③白岩真帆(いいでレーシングスポーツ少年団)
- 【中学】①佐藤萌(柳津町スキースポーツ少年団) 1分15秒90②福島里菜(門田スキースポーツ少年団)③半澤綾乃(三島町スキースポーツ少年団)
- 【一般】①大森瞳(門田スキースポーツ少年団) 1分21秒82

只見線「会津川口～只見」臨時代行バス時刻表

バス便	426便	430便	434便
駅名			
只見	7:15	14:25	17:45
会津蒲生	7:23	14:34	17:55
会津塩沢	7:30	14:41	18:02
会津大塩	7:42	14:53	18:14
会津横田	7:46	14:57	18:18
会津越川	7:51	15:01	18:23
会津本名	8:00	15:10	18:31
会津川口	8:05	15:14	18:37

只見 ↓ 会津川口

バス便	423便	427便	431便
駅名			
会津川口	8:10	15:35	19:08
会津本名	8:15	15:40	19:13
会津越川	8:24	15:49	19:22
会津横田	8:29	15:54	19:27
会津大塩	8:33	15:58	19:31
会津塩沢	8:45	16:10	19:43
会津蒲生	8:52	16:17	19:50
只見	9:00	16:25	19:58

会津川口 ↓ 只見

※道路事情によりバスの運転時間は遅れる場合があります。
 ※バスの遅れにより列車と接続できない場合があります。

【問い合わせ】JR東日本福島支店広報 電話024-522-2044

只見線「会津川口～只見」臨時代行バス運行

昨年、豪雨災害により運休となっていたJR只見線の会津川口駅から只見駅の間で、臨時代行バスが運行されています。バスは「ジオ・サイクル有会社(福井)」が運行、運転手は主に三瓶節さん(長浜)で、上り・下りそれぞれ一日3便の運行です。三瓶さんは「人の命を問わず大切な仕事、今は降雪期で道路状況もよくないので、細心の注意を払い、安全に運行したい」と気持ちを引き締めていました。



時刻表もお知らせします。ご利用ください。

▲只見駅前を出発する代行バス

只見学を推進

専門分野部会・懇談会

町教育委員会では、町民の皆さんが只見の歴史や自然文化などを学ぶ「只見学」を推進するためのガイドブックの制作を目的に、1月16日、只見学専門分野部会を只見地区センターで開き、委員13名が出席しました。この部会は、歴史、民俗、自然、文化、産業の5部門で編制され、各部会ごとにガイドブックに掲載する只見町内の只見学推進項目を選定、その内容を検討し、意見や提言を集約しました。

また、専門分野部会で選定された推進項目や提言などについて、学識経験者や町民の代表などが協議し、広く意見を聴取する只見学懇談会も、1月19日に只見



▲活発な意見交換をする専門分野部会の委員

地区センターで開かれ、10名が出席しました。今後は、専門分野部会、懇談会ともに3月中旬に開かれ、ガイドブックの制作や只見学推進体制の整備などについて作業が進められます。

町民が安心して暮らせる安全な町づくりを…

只見町消防団出初め式

1月8日、朝日地区センターで平成24年只見町消防団出初め式が行われ、副班長以上の幹部団員と関係者ら80名が参加しました。消防長の目黒町長が「昨年の豪雨災害時の迅速な行動と人命救助、捜索活動などにあたっていただき感謝します。これからも、消防団としての職責を全うされ、防火意識の高揚と、町民が安心して暮らせる安全な町づくりのために日々の努力をお願いします」と訓示を述べました。また、鈴木好行消防団長は「本年も、消す消防よりも出さない消防を心掛け活動する。消防団員の皆さんには、献身的消防意識を堅持され、さらに力強いご協

力をお願いしたい。今年は、平成24年になるよう願う」と訓示を述べました。参加した団員は、昨年発生した水害から得た教訓を胸に新たな気持ちで今年一年の無災害を誓い合いました。



▲訓示をする目黒町長

重要文化財を火災から守る

只見町文化財防火デー

1月29日に行われた国指定重要文化財「成法寺観音堂」の文化財防火デー消火訓練には消防団員、婦人消防隊、成法寺護持会や梁取地区の方々など約60名が参加。消防ポンプ車や積載車が出動し消防ポンプからの放水、さらに消火栓や放水銃による消火活動を迅速に行い、文化財愛護の意識を高めました。訓練終了後に鈴木好行消防団長は「この訓練は文化財を守るだけでなく家庭の防火にも役立つ。日頃から防火意識を高め、災害に備えてください」と訓示しました。この日は、防火査察も行われました。

仮設住宅での新たな生活

只見地区と朝日地区に各1棟(6部屋)

昨年7月の豪雨災害により、自宅を無くされたり土砂流出で大規模な被害を受けた町民の方が、只見新町地区と朝日地区センター前に設置された仮設住宅で昨年11月下旬から生活されています。

仮設住宅は、耐雪型の木造住宅で、一階はフローリングの居間と和室の2部屋で、簡易のキッチンがあり、二階部分に収納スペースが確保され、エアコンや暖房機、冷蔵庫などの家電製品も完備されています。

朝日地区センター前の仮設住宅に入居されている渡部孝さん(黒谷)は「昨年の水害で自宅が浸水し取り壊したので、仮設住宅で生活している。特別不便なことはないが、今年も雪が多そうなので、除雪が大変。早く暖かくて過ごしやすい季節になってほしい。今年は災害のない穏やかな年になってほしい」と心の願いを言葉にされました。



▲仮設住宅で生活する渡部孝さん